

MemsONEの普及・活用状況について

MEMSシステム開発センター

MEMS産業の振興と発展をソフト面で支援するインフラ構築を狙いとしたMEMS-ONEプロジェクトは平成16年度に始まり、平成18年度で終了致しました。このプロジェクトの成果はMemsONE（メムスワンと呼ぶ）版と呼び、プロジェクト期間中から、日本国内に広く普及させることを命題として推進してきました。

このため、今年度は引続きMEMS-ONEプロジェクト成果普及事業を(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構より委託され現在推進中です。本事業では、普及基盤確立のための下記の下記の4テーマを鋭意推進しています。

1) MemsONE 版(以降、版と呼ぶ)の普及活動

MEMS-ONEプロジェクトの成果である版を国内ユーザに広く頒布し、ユーザ獲得を図ると共に、ユーザニーズの収集や使用状況を把握し、今後の普及活動に反映する。

2) MemsONE機能の改善・強化

普及調査及び版(中間成果として配布したバージョン)評価アンケート等の結果から緊急性の高い機能の改善・強化を行う。

3) 成果普及・ユーザ支援活動

成果普及には、版の操作面・技術面におけるユーザ支援が不可欠なため、大都市圏を中心に定期的な実習講座やセミナーによるユーザ支援を行う。

4) 普及のための調査活動

MemsONEを広く普及させMEMS産業の裾野拡大を実現するため、初期投資負担の大きい製造設備に代わる製造拠点としてのファンドリーサービスを整備する。

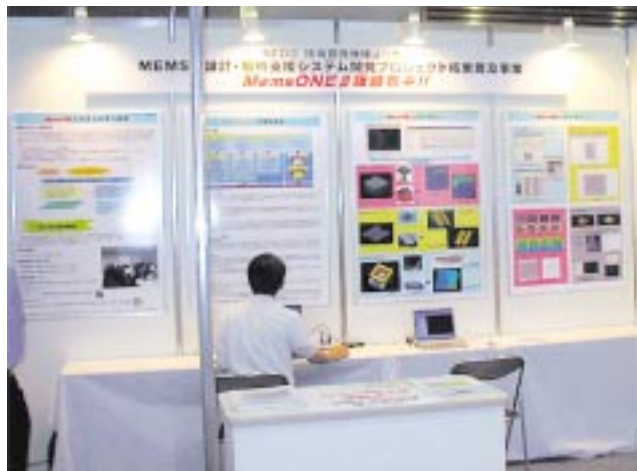
このような状況下、上記1)のテーマにおいては、版を6月初旬より頒布を開始し、企業、大学、研究機関、公設試などに導入され、現在400ライセンス

以上が使用されています。版の頒布に当たっては、関係者への各種メール配信、ホームページ公開、マイクロマシン/MEMS展や国際ロボット展に出展し、ビデオによるMemsONEの機能紹介、パネル展示、パンフレット配布によるPR等の実施により、目標値「450ライセンス以上」が達成できる見込みです。

左記3)のテーマにおいては、MemsONEを国内に広く普及させるためには、操作手順や解析の技術的なユーザ支援が不可欠だと考えています。このユーザ支援としては、多数のPCに版をインストールした環境を用意し、実際にPC上の版を使ってGUI操作や解析手順を指導する講習会が最も効果的です。この講習会(実習講座と呼ぶ)を実施することにより、成果の普及促進が図れるものと期待しています。この実習講座の開催に当たっては、30台以上のPCを備える教室が必要となりますが、東京大学および京都大学の教室提供により実現することができました。この実習講座では、基本コースと応用A・Bコースを用意して、東京大学で6回、京都大学で4回を計画し、7月より実施中です。これまでの受講者は130名あり、アンケート結果からも受講の効果があったことがうかがえます。また、これらの定期的な講習会の他に、他機関からの依頼によるPC持ち込みの講習会も2度開催(60名の参加あり)し、版ユーザの拡大に貢献できました。

これらのテーマの推進は、今後の商品化への影響が期待されるため、慎重に且つ精力的に実施して行きます。

本件に関するお問い合わせは、
MemsONEサポートセンター(TEL: 03-5835-1870、
E-mail: mems1-user@mmc.or.jp)まで



マイクロマシン展の展示風景



東京大学における実習講座風景